

おおたわら 社協だより

ふれあいネットワーク

2017
4月

Ohtawara Shakyo Dayori

発行所 大田原市浅香3-3578-17
大田原市福祉センター内
社会福祉法人
大田原市社会福祉協議会
発行人 会長 津久井 富雄
発行日 平成29年4月1日
印刷所 (株)エス・シー・シー

(第203号)



大きく広がれ 福祉の輪

みんなの気持ちがつながって、

目次

- P1…みんなの気持ちがつながって、大きく広がれ福祉の輪
- P2…会議・研修会の様子
- P3…寄付・赤い羽根共同募金報告・会員会費のお願い
- P4…新規事業の紹介「えぶろんサービス」
- P5…見守り隊開催事業・生活福祉資金・福祉金庫の紹介
- P6…新任職員紹介・あすてらす・心配ごと・行事予定
- 裏面から ボランティア情報紙「だいすき」
- P1…ボランティア紹介・ウォークラリー実行委員募集
- P2…紙ひこうきの会報告・豆知識・ボランティア募集



P2で紹介する会議・研修会の参加者

会議・研修会の様子

安心生活見守り事業推進会議 (市主催)

2月3日
開催



参加者：12地区見守り組織代表・見守り隊主任 講師：国際医療福祉大学准教授 林和美氏
ねらい：単身世帯・近隣関係の希薄化など社会から孤立しないように制度から漏

れる人を支援していくことをねらいに取り組んでいる事業です。

内容：安否確認をはじめ、生活支援や地域における交流などの取り組み状況を報告し、活動上の課題を検討しました。

皆様へ

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、協力関係機関が連携しながら地域ぐるみで支援体制を作って取り組んでいます。皆様のご協力をお願いします。

第二次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進会議(市・市社協主催)

1月20日
開催

参加者：市内関係機関・団体から推薦された30名の推進委員のみなさん・アドバイザー：国際医療福祉大学准教授 林和美氏

ねらい：計画(平成26～30年度)の推進状況を把握し、評価と見直しを行い、地域福祉を推進することを目的に開催しました。

内容：平成26～28年度に、市民、施設・団体、市社協、市を対象に実施した「取り組み状況調査」の結果を元に、取り組みの工夫や課題の特徴を見つけました。また、どうしたら地域福祉を推進できるのか、委員のみなさんでアイデアを出し合いました。

皆様へ

「おたがいを おもいやり
たのしく わらってくら
せるまち おおたわら」を
目指して、みなさんで取り
組みましょう。
※計画は、大田原市のホーム
ページでご覧になれます。



福祉教育(ふくし共育)担当教員研修会

2月7日
開催

参加者：市内小・中学校福祉教育担当教員
ボランティアグループ「ささえ」

ねらい：今までのふくし共育から、地域の福祉課題解決のプロセスから学ぶ「ふくし共育プログラム」の取組みに移行し市内各校に広めていくことをねらいに開催しました。

内容：「ふくし共育」のモデル地区で取り組んだプログラムを紹介し、グループワークでより取り組みやすいアイデアを考えました。

皆様へ

学校と地域の皆さんと一緒に力を
合わせながら、児童・生徒とともに
「ふくし共育」を進
めていきましょう。



心配ごと相談員研修会

～話してよかった！心が軽くなる心配ごと相談所～

3月6日
開催

参加者：心配ごと相談員 25名

ねらい：相談をうける際に必要な傾聴の技術を学び、心配ごと相談員としての資質向上を目指します。

内容：話の聴き方教室傾聴ハピネスの渡邊純子先生を講師に招き、傾聴の技術や、相談をうけるときに大切なことについて講議を受け、相談場面の演習も行いました。

皆様へ

心配ごと相談所は、地域住民の身近な相談所です。開設日には相談員がおりますので、生活での困りごとなど、どんなことでもお気軽にご相談ください。



地区社会福祉協議会研修会

～地域ぐるみのふくし共育～

2月14日
開催

参加者：各地区社会福祉協議会・紫塚小 上野先生 佐久山中 池澤校長先生・講師：国際医療福祉大学 准教授 大石剛史氏

ねらい：学校と地域がつながって活動することでお互いを知り、地域全体に福祉の輪が広がっていくことをねらいとし、今後、地区社協で活動をしていくことを目的に開催しました。

内容：「ふくし共育」のモデル区紫塚地区と佐久山地区から活動についての発表があり、講師から、「これからのふくし共育のあり方」と題して、お話をいただきました。

皆様へ

学校と地域がつながりをもって活動していくことで、地域の輪が広がります。子どもも大人も学び合っていきましょう。



寄付報告

平成29年1月16日から3月15日までに、社会福祉のために寄せいただいた寄付の報告です。皆様の温かい善意に心より感謝申し上げます。

◆大田原市社会福祉協議会寄付

- ♥ 黒羽商工会青年部 様……………42,504円
- ♥ 永岡 久明 様……………1,000円
- ♥ ニチイ学館佐久山校
介護職員初任者研修講座受講生一同 様……………1,395円
- ♥ JAM栃木JUKI労働組合大田原支部 様……………15,000円

◆大田原市善意銀行寄付

- ♥ 大田原市福祉ふれあいまつり実行委員会 様……………96,532円
- ♥ 栃木県立大田原高等学校生徒会 様……………雑巾110枚
- ♥ 高橋 千賀子 様……………タオル30枚
- ♥ 栗原 敏子 様 (437回・438回)……………60,000円



黒羽商工会青年部 様



JAM栃木JUKI労働組合大田原支部 様



大田原市福祉ふれあいまつり実行委員会 様



栃木県立大田原高等学校生徒会 様

平成28年度特別会費追加報告

古橋医院様

平成28年度赤い羽根共同募金追加報告

職域募金 栃木県税事務所互助会様



大田原市社会福祉協議会 員への加入をお願いします。 ～あたたかい地域づくりのために～

皆様からお寄せいただいた会費は、地域の福祉活動に活用させていただいております。

本年度もぜひ多くの皆様に会員になっていただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

(年間を通して会員加入の受付をしています。)

社協の会員とは

- ◆ 普通会員 (1世帯あたり年額500円)
※5月に自治会単位で加入依頼をいたします。
※自治会未加入の方で、加入していただける方は、お手数でも市社協までご連絡ください。
- ◆ 特別会員 (年額1,000円)
※6月に会社、事業所、商店、篤志家の方々に郵送で加入依頼をいたします。
- ◆ 賛助会員 (年額5,000円)
※6月に福祉施設等に郵送で加入依頼をいたします。

会費の使いみち

- ◆ 12地区社会福祉協議会の活動費
- ◆ 12地区見守り隊の活動支援
- ◆ 福祉委員の活動支援
- ◆ 社協だより・ホームページ作成
- ◆ 福祉ボランティア講座開催 など
※ふだんのくらしのしあわせのための活動に使われます

平成28年度赤い羽根共同募金のご報告 おたわらの地域福祉活動に生きています

お預かりした募金は栃木県共同募金会に集約され、その後7割が大田原市内のボランティア団体、食事サービス活動への助成、小・中学生向けの福祉教育副読本「ともに生きる」の印刷費等に活用されます。残り3割が栃木県内の福祉施設や災害時支援に活用されます。ご協力いただきました皆様には心からお礼申し上げます。



種類	件数	金額
戸別募金	16,501件	5,793,571円
特別募金	1,253件	3,140,840円
学校募金	35件	330,937円
街頭募金	45件	424,359円
職域募金	44件	447,454円
イベント等	44件	163,840円
合計	17,922件	10,301,001円

リフト付き自動車を無料で貸し出します

●内容…車いすを使用しているために、公共交通機関の利用が困難な市内在住の在宅者に対して車いす用リフト付き自動車を無料で貸し出し、在宅福祉の向上を図ります。

●申込方法…あらかじめリフト付き自動車の利用希望日などを電話で確認の上、申請者の印鑑・運転者の運転免許証をお持ちになり、3日前までに社会福祉協議会本所および支所で申請書を記入し申し込みをお願いいたします。
※車両の貸し出し場所は本所のみです。

安心生活
見守り隊事業紹介



西部地区
あつたか思いやりの会
「茶話会」

11月4日(金) 赤堀東地区会で
茶話会・健康講話を高齢者を対
象に開催しました。
地域包括支援センターの健康
講話や体操で体を動かしたり、
お茶を飲みながら仲間と話をし
たりと楽しいひと時を過ごしま
した。

1・2・3 背筋が
のびます!!



ゆづかみ見守り隊
「茶話会」

2月12日(日) 湯津上東部地区
の高齢者のみなさん30名が集ま

介護
保険

大田原市社会福祉協議会では4月より
総合事業のえぶろんサービスに取組みます



ご不自由なところを
ちょっと支援を受けながら
地域で暮らし続けましょう

1 えぶろんサービスってなあに？
介護保険制度の改正で、介護予防訪問介護が見直しされます。

○えぶろんサービスとは！
ご自宅にホームヘルパーが訪問して、簡易な生活援助（家事）に限定した支援を行う訪問型のサービスです。

2 利用できる人はどんな方？
○要支援認定を受けている要支援1・2の方
○基本チェックリストに該当した方
※生活機能について、25項目の質問があります。

えぶろんサービスの料金
1回 240単位（1単位＝10.21円）
たとえば！
週1回程度利用した場合 1割負担 981円／月
※負担割合は、世帯の状況によって異なります。
利用回数や利用料金については、担当のケアマネジャーや地域包括支援センターにご確認ください。

3 えぶろんサービスを利用するとどんなサービスが受けられるのか？

○掃除 ○洗濯 ○ゴミ捨て ○買い物

※調理は除きます
※1回のサービス時間は1時間未満

4 利用するにはどうすればいいの？
担当のケアマネジャーや地域包括支援センターにご相談ください。
また、現在ホームヘルパーによる予防訪問介護を利用されている方も、ケアマネジャーにご確認ください。





お洒落して元気に出かけましょう!

「高齢者なんて呼ばせない!」
3月18日(土)ピアートホールで、川西地区シニア(70歳から90歳)の方々が、まるで過去にタイムスリップしたかのよう
に舞台の上でキラキラ輝いていました。

川西地区見守り隊「シニアファッションショー」



身体を動かすと元気が出るよ...

り賑やかに開催しました。歌に、体操、手品、バルーンアートと盛りだくさんで、元気いっぱい笑顔いっぱいこのひと時でした。

お困りの時には、ご相談ください (以下の貸付制度があります)

生活福祉資金貸付制度

所得が少ない世帯や高齢者世帯、障害者世帯を対象として、ほかの貸付が利用できない場合に、世帯の経済的自立と生活の安定を目指して資金の貸付を行う制度です。栃木県社会福祉協議会を実施主体として、市社協が相談、申請の窓口となっています。

- おもな資金の種類
 - ・総合支援資金：失業や収入の著しい減少により生活の維持が困難になり、生活再建までの間に必要な費用
 - ・福祉資金(福祉費)：住宅の増改築や福祉用具の購入、療養等に必要な費用
 - ・福祉資金(緊急小口資金)：緊急かつ一時的に生活が困難な状況で、貸付により今後の生活の見通しが立つ場合に貸付する費用
 - ・教育支援資金：修学及び入学するために必要な費用
 - ・不動産担保型生活資金：高齢者世帯に対して、一定の居住用不動産を担保とした生活費
- 連帯保証人
 - ・原則として必要だが、いない場合でも貸付可能。
- 貸付利子
 - ・連帯保証人がいる場合は、無利子
 - ・連帯保証人がいない場合は、年1.5%
 - ・緊急小口資金、教育支援資金は無利子
- 貸付上限額および償還
 - ・資金の種類により異なります。
 - ・償還期間内に償還完了しなかった場合は、残元金に対し延滞利子が発生します。

貸付には、世帯の状況などの条件があり、まずは市社協までご相談ください。

大田原市福祉金庫

市社協では、所得が少ない世帯に対し、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、生活の安定、自立の促進を目的に貸付を行っています。

申請の際には、別世帯で保証能力がある連帯保証人(市内在住の方)の設定と、地区担当民生委員・児童委員の署名が必要です。

- 貸付額

生活維持のため必要と認められる経費を、限度額内で貸付します。返済は、貸付から12か月以内です。

単身及び2人世帯	上限20,000円
3人以上	上限30,000円

※平成29年4月より上限額、返済期間が改訂されました。

貸付事業では、自立相談支援事業と連携しながら包括的に支援を行っています。お困りのことがありましたら、市社協までご相談ください。



心配ごと相談日・市社協の主な行事予定

日	月	火	水	木	金	土
						4/1
2	3	4	5 湯心配ごと 13時～16時	6 黒心配ごと 9時～正午	7 大心配ごと 9時～正午	8
9	10	11	12	13	14 大心配ごと 9時～正午	15
16	17	18	19	20 黒心配ごと 9時～正午	21 大心配ごと 9時～正午	22
23	24	25	26	27	28 大心配ごと 9時～正午	29 昭和の日
30	5/1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
7	8	9	10 湯心配ごと 13時～16時	11	12 大心配ごと 9時～正午	13
14	15	16	17	18 黒心配ごと 9時～正午	19 大心配ごと 9時～正午	20
21	22	23	24	25	26 大心配ごと 9時～正午	27
28	29	30	31	6/1	2	3
				黒心配ごと 9時～正午	大心配ごと 9時～正午	
4	5	6	7 湯心配ごと 13時～16時	8	9 大心配ごと 9時～正午	10

◆心配ごと相談

地区	会場	連絡先
大 大田原	市福祉センター	23-1130
湯 湯津上	佐良土多目的交流センター	98-3715
黒 黒羽	市社協黒羽支所	54-1849

※民生委員児童委員が相談に応じます。秘密は守られます。

◆ボランティア相談

「ボランティア活動したい」「ボランティア活動して欲しい」などの相談に市社協職員が応じます。月～金曜日午前9時～午後5時（祝祭日、年末年始除く）場所：市社協本所（☎23-1130）

※人権相談・行政相談については、市広報紙・「大田原市ホームページ」(<http://www.city.ohkawara.tochigi.jp/>) をご覧ください。

つじつヨコ!

新採用職員を紹介します!



小口 貴之 主事

平成 29 年 4 月 1 日採用の新職員の小口です。

市民の皆様により添えるような職員を目指して頑張ります。また市民の皆様が暮らしやすい地域づくりに励みますので、どうぞよろしくお願いいたします。

あすてらす

あすてらす

(日常生活自立支援事業)とは?

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助を行うことにより、在宅での自立した生活を送れるよう支援するものです。

市社協（基幹社協）に配置された専門員が相談に応じるとともに、利用者ごとに適切な援助内容を定め、生活支援員が直接援助を行います。

○支援サービスの内容

- ・福祉サービスの利用援助
- ・日常的な金銭管理サービス
- ・書類等預かりサービス

保管できる書類等

- ① 年金証書
- ② 貯金通帳
- ③ 権利証
- ④ 契約書類
- ⑤ 保険証
- ⑥ 実印・銀行印

※預かることができないもの
宝石、書画、骨董品、貴金属、証書、小切手など

☎0287-23-7375

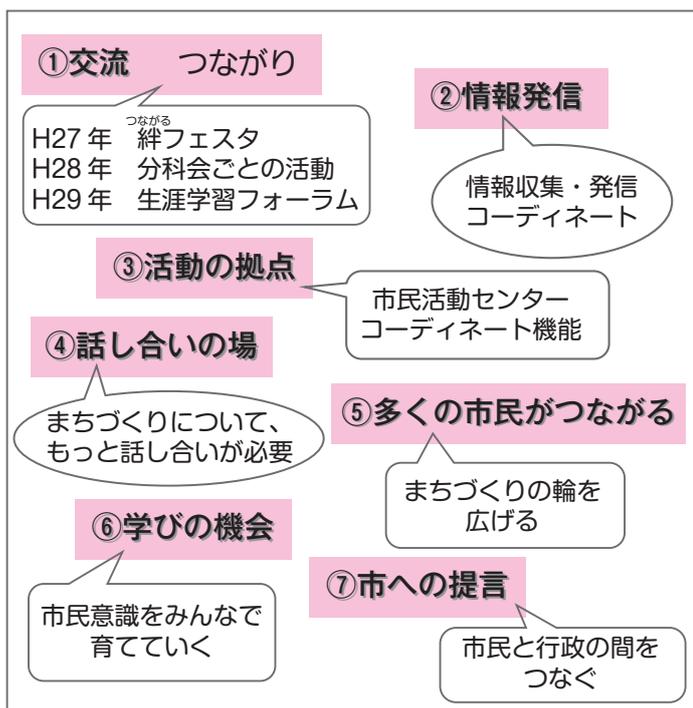
ボランティア情報紙「だいすき」

みんなで考えよう！ 市民によるまちづくり

～紙ひこうきの会～

紙ひこうきの会では、市民活動している人たちが中心となり、「住んで良かったまち、いいまちを創ろう！」を合言葉に、市民が主体的にまちづくりを進めていけるよう話し合いをしています。また、子育て・居場所づくり・生きがいづくり・おたわら再発見・情報発信のテーマごとの分科会活動も行っています。

2月11日に開催された「市生涯学習フォーラム」では活動発表をし、多くの方に活動を知っていただく機会になりました。今後、次のような活動をしていくことを検討していきます。



まちづくりについて、一緒に語り合い、
行動してみませんか！



問合せ先：
紙ひこうきの会事務局
電話 23-8715
(市政推進課市民協働係)

プロボノ

まとめ
知識

～新しいボランティアのカタチ～

「プロボノ」ってご存知ですか？プロボノとは、普段は働いている社会人が仕事で培ったスキルや経験を活用して、ボランティア活動を行うことを言います。

例えば・・・

- ・看護師さんがイベントで救護ボランティア
- ・大工さんが高齢者宅の壁を修繕
- ・土建屋さんによる災害瓦礫の撤去作業
などなど

プロボノは、働く人の社会貢献活動のひとつとして近年注目されつつあります。地域の人、異業種の人と交流をもつことで、自身のスキルアップに繋がったり、人脈が広がったりするなど、本業へ活かされることも期待できます。

働く人の新しいボランティアのカタチ「プロボノ」。

あなたもはじめてみませんか？



ボランティア行事用保険

「Cプラン」新設！

- ・名簿が不要です。
- ・不特定多数の方が参加する日帰り行事を補償します。
- ・保険料は昨年度の実績やイベントの規模から、適切な人数で算出します。一人あたり28円です。
- ・加入条件は、市社協までご確認ください。



黒羽高等学校ボランティア部

会員数32名

ボランティア
紹介コーナー

通常は、黒羽高校の校内美化を積極的に行っています。また長期休業等には校外活動として、あじさいの剪定、黒羽小学校学習支援、大田原マラソン大会補助員、高齢者福祉施設でのボランティア等、様々な地域のボランティア活動に参加し、地域貢献を目指しています。



あじさいの剪定中

＊ これからの活動について

今まで通り多くの地域のボランティア活動へ参加した、手話や点字などを学び、活動の幅を広げていきたい。

＊ みんなに伝えたいこと

若い力で地域を元気にしていけたらと思います。イベント等に、お手伝いに伺います。ぜひ声をかけてください！



小学校での学習支援の様子

＊ 頑張っていること

地域のボランティア活動への参加を通して、多くの方々と交流を深め、自分たちの視野を広げることに力を入れています。

＊ メンバーの声

一人一人が部活動の一員、そして地域の一員として責任をもって活動していきたい。

平成29年度
実行委員募集

ぼくらのまちのウォークラリー

こどもから大人まで、ハンディのある人もない人もみんなで力を合わせ、ゲームやクイズをしながら仲良く一緒に楽しむウォークラリーの企画を通して「ともに生きるまちづくり」をめざし活動しましょう！

地域に住む様々な人と交流する場として、福祉のまちづくりについて考え、ワクワク・ドキドキ楽しい企画・運営を一緒にやってみましょう！

★実行委員会の開催予定★

- ・6月から平日の夜間または土日の日中、8回程度
- ・ウォークラリーの実施日は10月14日(土) 黒羽運動公園予定です。

★申込みは真末まで★



ボランティア募集情報は、市社協ホームページのブログに掲載しています。

大田原市社会福祉協議会は、みんなのふだんのくらしのしあわせを応援しています！

【本所】
浅香 3-3578-17
大田原市福祉センター内
☎ 23-1130・24-0294
FAX 23-1138

あすてらす
おおたわら
☎ 23-7375

【湯津上支所】
佐良土 853
佐良土多目的交流センター内
☎ 98-3715
FAX 98-8011

【黒羽支所】
黒羽田町 848
☎ 54-1849
FAX 54-2745

大田原市
社会福祉協議会
介護事業所

市社協ホームページ URL <http://www.ohawara-shakyo.or.jp/>